

講座名	アメリカ大統領選挙の行方
講師名	中山 俊宏(慶応義塾大学教授)
講座案内	<p>2016年のトランプ大統領の勝利は「事故」のようなものだった。しかし、起きてしまったものは対応しなければならない。しかし、今回は違う。「トランプ」を四年近く体験してもなお、アメリカが再度トランプを選ぶとなると、それは2016年とは当然違った意味を持ってくる。それはアメリカの自画像、そして国際社会がアメリカを見る視線も大きく変える。しかも、おそらくトランプ主義はトランプが負けても残る。そうした構造変動に焦点を当てる。(講師記)</p> 
日程	2020/9/19
曜日・時間	土曜 13:30～15:00
回数	1回
受講料 (税込)	会員 3,300円 一般 4,400円
設備費(税込)	165円
講師詳細	<p>中山 俊宏(ナカヤマ トシヒロ) 慶応義塾大学総合政策学部・教授／日本国際問題研究所・客員研究員。 1967年生まれ、東京都出身。青山学院大学国際政治経済学部国際政治学科卒。青山学院大学大学院国際政治経済学研究科国際政治学専攻博士課程修了。博士(国際政治学)。 ワシントン・ポスト紙極東総局記者、日本政府国連代表部専門調査員、日本国際問題研究所主任研究員、ブルッキングス研究所招聘客員研究員、津田塾大学国際関係学科准教授、青山学院大学国際政治経済学部教授等を経て、2014年4月より現職。2017年にはサー・ハワード・キッペンバーガー・チェア客員教授(ビクトリア大学ウェリントン戦略研究センター)、2018～19年にはウッドロウ・ウィルソン・センター・ジャパン・フェロー。専門はアメリカ政治・外交、国際政治、日米関係。主な著書に、『アメリカン・イデオロギー』(単著、勁草書房)、『介入するアメリカ』(単著、勁草書房)、『アメリカにとって同盟とはなにか』(共著、中央公論、13年)、『オバマ・アメリカ・世界』(共著、NTT出版、12年)、『世界政治を読み解く』(共編著、ミネルヴァ書房、11年)などがある。第10回中曽根康弘奨励賞受賞。</p>